

# 円形水路改良工(NER工法)の作業手順書

制定・改定日 2022.7.19

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> <li>規制内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>KY活動</li> </ul>
カッター工	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設円型水路のカッター切断位置を正確に墨出し、マーキングする。</li> <li>コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って円形水路を切断する。</li> <li>横断方向はエンジンカッターにて行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルの位置を全線明示し、ケーブル側へカッターの歯を向けない。</li> <li>コンパネ等でケーブル養生を行う。</li> <li>切断位置に沿って作業しているか監視員をつける。</li> <li>機械使用後は、水抜きを行い、歯止めをかって路肩に置く。</li> <li>ブレード付近には、手、足を近づけない。</li> </ul>
既設円型水路撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦切断・横切断箇所にくさびを打ち込み片持ち部の小分けを行う。</li> <li>2m程度の小分けを行ったのち、アンカー及びアイボルトを取付、ユニック車、クレーン仕様の重機で吊り上げ撤去する。</li> <li>必要に応じてハンマードリル等で凹凸部分をはつる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路上や橋梁下に落下物が無い様にシート、ウレタンフォーム等で養生を行う。</li> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> <li>吊り荷の安定を図るため、地切りの実施</li> <li>はつりを行う場合、車線側には必ず飛散防止ネットを設置する。</li> <li>又、防塵マスク、保護メガネ、耳栓を使用する。</li> </ul>
チューブ型枠設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>円型水路内の清掃を行う。</li> <li>パッキンを取付チューブ型枠を円型水路内に敷き、ベビーコンプレッサーにて空気をいれ膨らます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チューブ型枠とベビーコンプレッサーが接合されているか確認する。</li> <li>チューブ型枠の両端が閉じているか確認する。</li> <li>チューブ型枠の破損がないか確認する。</li> </ul>
NERブロック設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>吊り下げ金具にNERブロックを取付る。</li> <li>ユニック車及びクレーン仕様の重機にて吊り上げ所定の場所に据える。</li> <li>吊り金具の調整ボルトにより正しい位置、高さに設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> <li>ケーブルの位置を確認する。</li> <li>吊り荷の安定を図るため、地切りの実施</li> </ul>
グラウト充填	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定配合に従い練り混ぜを行う。</li> <li>NERブロックと既設円型水路の隙間にグラウトを充填する。</li> <li>所定の養生を取り、天端仕上げのグラウトを入れコテにて表面を仕上げる。</li> <li>更に所定の養生を取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路上の養生を行う。</li> <li>チューブ型枠の空気漏れがないか確かめる。</li> </ul>
型枠・仮設資機材撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>チューブ型枠及びNERブロック吊り下げ金具の撤去を行う。</li> <li>養生シートなどの仮設材の撤去を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風等で飛散しないよう防止処置を行う。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>

作業編成(標準)			機材		資材	安全器具・保護具	
作業責任者	1	名	コンクリートカッター	竹ぼうき		ヘルメット	
現場監視員	1	名	エンジンカッター	ミキサー		反射(自発光)チョッキ	
作業員	4	名	水タンク	リボンロッド		警笛	
			チップパー	スタッフ		防塵マスク	
			コンプレッサー	発電機		保護メガネ	
			飛散防止ネット	ハンマードリル		耳栓	
			角スコップ				

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に合った保護具を使用する。
- 2.センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 3.各作業は、有資格者による作業を行う事。
- 4.はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 5.火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
- 6.NERブロック移動の際は、足等への落下に注意
- 7.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 8.一人作業の禁止**